

し ぶ や 区 議 会 だ よ り

253

第2回定例会号

平成24年(2012)
7月15日発行

主な内容

代表質問・一般質問(要旨)..... 2-5面
委員会の活動状況..... 6面
第2回定例会の議案等の
概要と結果・報告..... 7面
常任委員会委員の紹介・会派等一覧..... 8面

発行 / 渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎(3463)1096(直通) 渋谷区議会ホームページ
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>



本誌写真みどりの行

公契約条例の制定、平成二十四年度 一般会計補正予算などを可決

平成二十四年度第二回定例会は、六月七日から二十日までの十四日間開かれ、本会議の初日は、四人の議員が代表質問を、二日目は一人の議員の代表質問と六人の議員の一般質問を行いました。

最終日には、区長提出議案一件に対し、日本共産党と民主党が賛成討論を、他の一件には、純粋無所属が反対討論をしました。また、日本共産党が、平成二十四年度一般会計補正予算(第一号)に対し反対討論を、請願三件に対しては賛成討論をしました。今定例会では、公契約条例など区長提出議案七件、平成二十四年度一般会計補正予算二件、神宮前五丁目幼保一元化施設(仮称)建設工事請負契約など二件を原案のとおり可決しました。また、専決処分の報告四件、平成二十三年一般会計予算繰越明許費の繰越しなどの報告二件、都市整備公社、サービス公社、土地開発公社、観光協会及び美術振興財団の経営状況の報告五件を聴取しました。このほか、人事案件を支援しない旨を申し、請願五件については、四件を不採択とし、一件を取下同意しました。

次回定例会のお知らせ

平成二十四年度第三回定例会は、九月十九日から開かれる予定です。

主に、平成二十三年一般会計歳入歳出決算が審査されます。
本会議は、通常、初日と二日に代表質問・一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。本会議・委員会とも傍聴できますのでお気軽にお問い合わせください。

傍聴するには

本会議の傍聴
会議の当日、区議会事務局で、傍聴券に住所、氏名を記入し、交付を受けてから傍聴席に入ってください。(二十八席)

本会議は車椅子で傍聴できます。(三台分)
本会議は車椅子で傍聴できるスペースを三台分用意しています。手続きを説明しますので事前に議事係までご連絡ください。

* 区議会事務局議事係 TEL 3463 1073

本会議で手話通訳を行っています。
定例会初日の午後一時~五時まで、手話通訳者を配置します。それ以外の日時をご希望の方は、七日前までに、住所、氏名、連絡先、希望日時を明記し、FAX等で庶務係までお申し込みください。

* 区議会事務局庶務係
TEL FAX
3463 5445
3463 8493
1093 9309
4

代表質問

公契約条例、区制80周年事業、まちづくり等6点を伺う



自由民主党
佐藤 真理 議員

公契約条例について

条例の対象契約の範囲は予定価格、億円以上の工事請負契約としたが、どのような考えに基づいたのか、労働条件の整備して資金の適正化が求められる。報酬下限を定める必要があると考えるがいかがか。条例案の「施策に関する重要事項」とはどのような内容か伺う。

区長

大規模工事の下請や末端労働者の労働条件を確保する事が重要である。実効性ある条例とするため適用範囲を一億円とした。労働報酬は労働報酬協議会の調査・審議により公表し、公正性を確保し適正な下限を決定した。制度全般にわたる適用対象契約の範囲や適用金額等

区制80周年事業について

国際的な生活文化都市として進化する渋谷区が、未来を担う子どもたちへの期待や夢を持った教育の観点か

ら青少年海外派遣事業は継続すべきと考えがいかがか。区長 立和・国際文化都市としての発展していくためにはその一つとして人材育成が重要であり、企業との協力を得ながら長く続く事業としたい。

景観計画の策定や区民への周知、営業等を実施し、景観を区民のものとするのが、また、宅地の狭小化が進んでいる。良好な環境の維持や防災向上の観点から、最低敷地標準等を規定する、考えがいかがか伺う。

区長

景観計画をもとに、区民説明会やワークショップを実施し、都市計画審議を経て計画から区独自の景観計画を運用開始する。潤いのある景観を維持し、また地域の魅力を向上して、渋谷の価値を高める良好な景観の創出、訪れたいまちづくりを進めたい。地域の実情にあったルールを条例として制定し、早急に整備してまいりたい。

福祉について

区の第五期高齢者保健福祉計画で認知症高齢者等の医療との連携強化がある。認知症疾患医療センターとの連携体制の進捗状況、認知症サポート医との連携、本人への対応はどのようなか伺う。

区長

認知症疾患医療センターでは、合併症の治療ができ、地域の専門医療機関等と連携して、地域で受け入れる体制を構築しようとしている。認知症サポート医は八名が公表され、かかりつけ医に対する

助言や相談、包括支援センター等との連携を図る。今後は関係機関が制度の理解を深め協力体制を構築できるようにする。医療と福祉の連携がより必要であるため、医師会の協力を得て実現したい。

健康推進について

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌(ピタウィルス)ワクチンの接種率等の実績はいかがか。また、予防接種部会の財源確保の進捗をどう考えるのか。子宮頸がんの予防として、ワクチン接種とあわせて重要ながん検診の受診率向上への取り組みを伺う。

区長

平成二十三年度の子宮頸がん接種率は八十%、ヒブは八十%、小児用肺炎球菌は七十七%、ロタウィルスは今年度七十四%で、いずれも高い接種率と評価。提言を示された。定期接種化や有効性等は感染症から守る観点から当然で、区の財政負担が増すが、有効性・安全性を確認しながら、新たに必要なワクチン接種を推進していく。ワクチン接種対象者や保護者に対して、がん検診の啓発を行い受診率向上に努める。検診の実施を評価する等で精度管理し、質の高い検診を提供したい。

教育について

渋谷区本町学園の特別支援教育九年度についての在り方と、中学校の特別支援学校の部活動について伺う。山根小学校の建て替え期間中、児童は代々木小学校に転校して工事を実施する計画だが、児童の校庭の場についてどのような検討を行ったのか。

教育長

施設一体型小中一貫教育のメリットを生かし、環境の変化をなくして進学による不安感を軽減でき、教員が一体となりきめ細かく、個に応じた教育を進めたい。通常学級との交流とともかかわる力を育て、社会参加に必要なスキルを身に付ける事ができる。また区の特別支援学級の取り組みに広げたい。部活については、新たに指導員を配置し、生徒が自分のペースでスポーツや文化活動を行える環境整備を進めていく。児童の学校生活の確保が課題となっており、校庭等の仮仮設置や近隣への仮移転が難しく、安全確保や新校舎の早期建設の意向を、両校の保護者の意見や希望を伺い、地域への十分な説明も行いながら進めてまいりたい。

孤立死・貧困死対策、防災対策、子育て支援等7点を質す



日本共産党
五十嵐千代子 議員

消費増税と原発補助問題

消費増税増と原発補助問題をやめるよう国に求めるべき。国で解決すべき課題。

区民の暮らしを学ぶ問題

今年七月中止された介護や国民健康保険料等の負担増から、区民の暮らしを守るため、区独自の介護保険料軽減対策を住民税非課税者に拡大し、国保料は、収入が生活保護標準の一・五倍以下に減少した世帯も軽減対象にすべき。その考えはない。

孤立死・貧困死対策

孤立死や貧困死が相次ぎ区でも対策が求められる。老老世帯や障害者世帯で福祉や介護サービスを受けられない人に実態調査を実施しライフライン事業者との定期的協議機関の設置と、見守り対象者に拡大し、ひとり親や障害者のある世帯も拡大すべき。生活保護の受給抑制をやめるよう国に求め、出張窓口から申請用紙を置く等、改善せよ。敬老金贈呈時に実態調査し、地域生活支援センター、

見守りサポート協力隊が対応している。区民が孤立しないよう取組を続ける。申請用紙を置く考えはない。出張所用紙を置く考えはない。

防災対策

危険度の高い区民会館保育部等の耐震補強を直ちに実施すべき。民間障害者施設等も耐震助成を施すべき。本町や幡ヶ谷の不適密集地域の焼失棟数は三棟余りで対策は待ったなし。都に助成拡大や小型消防車の配備を求めると共に消火器の設置を。代共施設の確保等を考えながら努力している。民間業者等は個別に依頼したい。都に小活防たの配備は求めない。街区消火器は対応したい。

子育て支援

子どもたちを財政削減の犠牲にする幼児一元化計画はやめよ。三十五人の保育園待機児を解消するため、区立桜丘・西原保育園を開校せよ。幼児一元化施設の整備

区立谷小学校



区立谷小学校

見守りサポート協力隊が対応している。区民が孤立しないよう取組を続ける。申請用紙を置く考えはない。出張所用紙を置く考えはない。

は計画どおり進めたい。教育問題。山根小学校の建て替えは、代々木・山谷小学校の児童もまた犠牲にしないこと。改めて保護者、住民に情報公開し再検討をせよ。本町小中一貫校のチャームやクラウドの使い方の改善も、小五六年の定期テストや受検体制の強化はやめるべき。山根、山谷、代々木小学校の保護者とのやり取りをいただき計画どおり進めたい。教育長 学習方法の研究成果により実施

今後の区政、未来の渋谷への思いほか5点を伺う



公明党
広瀬 誠 議員

日中国交正常化四十周年に中国北京市への中学生の派遣にたいかなる期待を持つかを伺う。区制施行八十周年を迎え、今後の区政、未来の渋谷を思い描いているか伺う。

国際文化渋谷区政について

両国の国際交流の発展につながるもの、一人ひとりの取組みや見識を踏まえ、平和・国際文化都市渋谷人類共生社会の発展を目指す。

災害への備えについて

問 震災対策基礎調査の結果を踏まえ、防災マップをどのように活用するの...
答 どのような情報伝達手段の確保に取組んでいくのか...



防災センター

反映していく。多様な手段で伝達したい。技術の進歩を注視し、より確実な情報手段を確保していき。改めて耐震化の観点から点検を進めていく。様々な取り組みが真剣に広がっている。提言として受け止める。しぶや区ユニース防災特集号を発行し活用できるような工夫したい。復興への活力につなげるため、民俗芸能復活を支援する等、様々な支援を続けて行く。提言を踏まえ検討する。

問 今後の課題として受け止める。調査結果を踏まえ、きめ細かな対応策を実施。計画も、教育委員、被災地の人々や、命の大切さを学び、我が国を生むの中心となる人材となつて欲しいと切望する。

問 災害への備えについて。渋谷川での洪水予測の周知方法や危険箇所の対策をどう考えるか。
答 迅速に周知する。関係機関と連携し、水害に強いまちづくりを積極的に進める。

問 区民の健康増進について。がん対策のさらなる推進で、検診受診率向上の取組み、がん登録の見通しについてを伺う。
答 定期予防接種における不活化ポリオワクチンへの対応、周知について伺う。
問 健康推進部長。速やかに医師会等と連携して接種体制を整備し、円滑に接種できるように準備を行っていく。

区民サービスの向上について

問 地域コミュニティの再開に若者の参加促進の方策は。
答 コミュニティの拡大について、当区発行の住民基本台帳カードの利用に力を入れたい。
問 コミュニティの輪を広げようとしている事例もある。支援の努力を。
答 課税・納税証明書交付も開始する。業者参入にも注目する。

問 子どもの読書環境の取組みと展望を伺う。ブックスタート運動の取組みについてさらに充実を図られるよう取組むについて伺う。
答 ネット教育では、利便性と危険性を認識させるべきだが、学校等の支援も重要と考え、所見を伺う。

問 図書館等との連携を進め、環境整備に努める。有意義な取組みであり、すべての図書館で事業案内をしている。
答 ハチノホ等との連携を深め、子どもたちに探求する喜び、創造する力を身に付けさせていく。保護者も含めた啓発活動を行っている。より一層の充実を努める。

問 区民の健康増進について。がん対策のさらなる推進で、検診受診率向上の取組み、がん登録の見通しについてを伺う。
答 定期予防接種における不活化ポリオワクチンへの対応、周知について伺う。
問 健康推進部長。速やかに医師会等と連携して接種体制を整備し、円滑に接種できるように準備を行っていく。



健康、教育の充実。行政サービスのコストを区民に示せ
民主党 鈴木 建邦 議員
区民の健康を守る取組みについて



問 風疹予防接種のワクチン未接種者の対策を伺う。
答 B型肺炎の接種費用助成をBCGは医療機関委託による個別接種に。放射能に汚染されている可能性の低い食料を給食に提供する請願への対応状況は、糖尿病の指先健診の実施を、健康維持特等区スポーツ栄養学活用を。
問 高校三年生までは無料接種で各登校等で接種向上に努める。現在は接種していない。測定拡大し、新たな規制値にも対応。検体は放射性物質不検出。慎重に対応する。今後の参考とする。

問 学校選択制の課題認識と修正の考えは。
答 学校給食の無償化を、西原幼稚園の募集停止は慎重に判断を。
問 学び合いの導入で言語活動が充実。
答 読書障害の実態と早期発見への取組は、
問 検討会を設置したい。
答 成果と課題等を議論したい。現状は保護者が負担すべき。

計画どおり進めたい。学び合い手法を取り入れており、さらに研究を約四回、特別支援教育で約四回、区審議し、読書障害も発見。保護者の同意を得て、多方面から分析して適切な支援を指導。PTA研修等で取組を説明。
行政のあり方について
問 公契約条例は業務委託指定管理者等に範囲を広げ、区政情報の共有を、保育施設と特養ホームコストを伺う。
答 労働報酬審議会での検討を重ねる。区立保育園の経費月額一人当たり、0歳児が約四十三万円、一歳児約二十七万円。特養は年間一人当たり平均約五百十五万円。



問 災害時は行政職員の活躍が必要。職員、管理職の区内徒歩圏内の居住促進を。
答 区内在住職員は十一、六、二百二十人強。迅速かつ円滑な緊急初動体制を確立

まじわりについて
分煙の実際の成果は。
答 無線LANを設置して提供していくべき。自転車利用者にマナー啓発を。
問 駅周辺に誘遊車を配置し、ルールの周知に努めていく。
答 吸殻は減少。無線LAN機器設置を進めており、更に情報サービスの充実を図る。自転車対策協議会で協議中。

国際都市渋谷、地域コミュニティ等11点を伺う
無所属 長谷部 健 議員



問 渋谷区の歩道をつくり、まちづくりの考えを伺う。
答 上海のまちの模型を俯瞰で眺めたとき、普段気付かないことに気付いた。まちづくりという視点ではこういう視点でまちを眺める必要があると感じた。区にもそれは非常に役に立つ。
問 公開すれば民間企業がまちづくりにも役立つと思ふ。

問 英語で授業する機会を。
答 音楽・美術・体育の先生は外国人に英語で授業する機会を。

問 経費や展示スペース等を考えながら検討したい。
答 職員や児童をもっともっと海外の国際都市へ派遣すること。
問 区の未来を考える人は、実際に目で見て肌で感じ学んでいく必要がある。派遣予算の半分は寄付を募る等、応援を募ってはどうか。
答 企業サポーターの協力案件もあるが、前向きに検討したい。

問 形を変えた地域コミュニティがカフェに見受けられる。この活用がされるカフェを増やすことを応援してはどうか。
答 オープンカフェを併設すれば客単価が緩和される等促進の方法はあると思ふが、区長、かつて社会実験として実施されたこともあるが、実態を把握する必要がある。

問 ポケットパークサイズの公園で、有意義なコミュニティスペースとなると思ふ。
答 緑と防災空間の拡大について積極的に対応したこともできる。さらに検討、努力してみたい。



上海市のまちの模型

用語解説 LGBT(女性同性婚者)シスコン(男性同性婚者)クィア(両性愛者)バイセクシュアル(両性愛者)トランスジェンダー(性別転者)

区長 松清中では実践済み。他校へ適用することは各学校の運営に配慮しながら検討する。通学可能な年齢がら検討する。ビルを建てた時は、新入生入校の準備を始める。

区長 義務化し、アートなまち渋谷を強く発信してはどうか。区長 義務化は疑問がある。

区長 公園や区民施設等でのWiFiフリーの場があることで彼らが活動しやすいまちなる。もっと地味ではどうか。区長 検討しない。

場所を貸したりYouTubeでサポートしてはどうか。例えば、宮下公園や公園通りでフットボールコートが行われたり、終電後の地下鉄入り口階段を小劇場にする。区長 渋谷では発着している。区長 積極的に協力したい。認識で、積極的に協力したい。

結婚式場や病院工事で断られることがあると聞く。カッパルが安心して暮らせる環境整備して、証明書が発行を検討してはどうか。区長 共生社でなくてはならない。区長 区民にもカーにもメリットがある。実施希望。区長 区民に呼びかけてこの事業の完形に努力する。

国際都市渋谷らしいものを気合を入れて作ってほしい。

賞金を掲げ、国内外プロアマ問わず広く募集し、版權は区のものにするやり方もある。決まった後は戦略をもって広める必要がある。区長 その気持ちで取組む。

一般質問 防犯対策ほか1点質問する 純粋無所属 堀切 稔仁 議員

防犯対策について 区長は、渋谷区は観光都市と発言をされているが、五月十八日、渋谷区総合庁舎に刃物を持った男が区長に面会を求め、現行逮捕された二十一日は東京メトロ副都心線渋谷駅地下で、男性が男に刺されたと通報された。事件後、区から警視庁などへ巡回回数の強化、警官配備の増員を要請したか。区長 警察は手帳にも仕事をしており、警長にむち打つかのような防犯協力体制の強化の要請は差し控えた。

と、執行機関から議員個人の名が出てくる。個人情報を守れないという。個人情報条例第三条には実施場所は個人情報が多かりに公開されることのないよう最大の配慮をしなければならないとある。議員が情報公開かけた場合、各執行機関は情報公開条例の規定に従うのか、個人情報取扱については条例に従うのか。総務部長 今後とも条例に基づいて適正に対応する。教育、保健正に条例に基づき適正、厳正に対処する。

生活保護制度、こども園の運営体制について等4点を伺う みんなの党 須田 賢 議員

生活保護制度について 区長 生活保護の本来の目的に立ち返り、支給資格者に対して審査を行うべき。不正申請や不正受給に對してどのような対策をとっている。各執行機関は指導調査等により適正な実施に努めているが、不正な申請や受給が発生した場合、費用の全額返還請求を行い厳正に対応している。

生活保護制度について 区長 生活保護の本来の目的に立ち返り、支給資格者に対して審査を行うべき。不正申請や不正受給に對してどのような対策をとっている。各執行機関は指導調査等により適正な実施に努めているが、不正な申請や受給が発生した場合、費用の全額返還請求を行い厳正に対応している。

老朽化マンションの建て替え 地震への備えの迫切性が高まり、老朽化マンションの存在は居住者の身の危険、倒壊時の道路通行の妨げ等が問題。共助、公助が必要であり意識啓発セミナーや近隣マンション同士の横の繋がりを促進する等により、建て替えや改修を後押しする支援策を講じてほしい。

生活保護制度について 区長 生活保護の本来の目的に立ち返り、支給資格者に対して審査を行うべき。不正申請や不正受給に對してどのような対策をとっている。各執行機関は指導調査等により適正な実施に努めているが、不正な申請や受給が発生した場合、費用の全額返還請求を行い厳正に対応している。

化施設の運営形態は、幼稚園をも取り込みながら教育及び保育に資する施設とする。教育長 平成十五年四月には代々木五丁目旧代々木高松跡地に幼保一元化施設が開設予定である。西原地区は今後一層幼児施設が充実する。西原幼稚園は現在の計画どおり進めていきたい。

西原幼稚園 高松跡地に幼保一元化施設が開設予定である。西原地区は今後一層幼児施設が充実する。西原幼稚園は現在の計画どおり進めていきたい。

幼保一元化施設について 区長 幼保一元化施設は社会福祉法人等に運営を任せられるのが良いと考え、どのような運営するのか。本町のこども園・幼保一元化施設の開設まで延期する考えはないか。区長 本町三目的の幼保一元化施設は、社会福祉法人渋谷区社会福祉事業団が区と一体的に開設準備から運営まで行う。本町二目的の幼保一元

が分野にわたったため、子育てへの切り口が口を一本化する提案をする。必要な受付、担当や簡単な手続きを併用、人手を簡素化してくる案内係となる。子育てコンシェルジュの設置を検討を願う。フリーランスの立場で働く女性への支援となる。時保育の計画、定期利用の型保育の方向性と現況に向けての選択について伺う。病児・病後児保育利用制度成功制度について、一日平均十時間利用が多く、年間上限額での利用可能は四日間であるが上限額のアップについて提案する。育児学級の評判が良く、特に離乳食の調理は試食もあり参考になったと聞くが仕事をしているお母さんたちは、平日の講座を受けられない。出席後は不安もある中で子育て情報の収集も難しいため、保健所主催の育児学級を受けられるよう、土曜開催を目指してはどうか。

区長 ワンストップサービスを頭に置き工夫を凝らした方が、まずは意見として受け止める。急増する待機児のために、定期利用保育を先延ばしに、定員拡大を優先した。今後、幼保一元化施設四カ所での拡充を実施していく。定期利用保育は、区民需要を見極めていく。利用実態等を考慮し、四日間から五日間とす。区民サービスに充実に寄与したい。土曜日に試行的に開校し、二、三年の高利用クラスも提供できるよう検討する。ホームページを充実させ、育児学級などの情報を提供し、働く親にも十分配慮した子育て支援を進めたい。

子育て支援関連の所管 子育て支援関連の所管

休日診療について 休日診療については、夜間、休日、日曜対策は整備済み。区長、日曜対策は整備済み。やお盆、年末年始等の朝休日時急病対応の情報は提供している。医師会と調整し、受診可能診療所の情報を分かり易く伝える。区長 休みの日程は個々の医療機関の都合によるため、区长的に情報を把握し、周知することは難しいが、今後医師会の協力を得ながら実現に向けて検討していきたい。

高齢者福祉について 長寿社会を最後までの人らしく過ごすための仕組みとして、また、自身の経験や生き方をしっかりとして次世代に伝える役目も担い、自分の記録や希望を家族に残す「レター」の作成を提案する。高齢者自身の改訂版作成を機会に、または何らかの形で伝える役目も担い、自分の記録や希望を家族に残す「レター」の作成を提案する。高齢者自身の改訂版作成を機会に、または何らかの形で伝える役目も担い、自分の記録や希望を家族に残す「レター」の作成を提案する。

区長 高齢者のおしりや内容が介護保険や保健福祉サービスの制度の趣意を理解するために、定期利用保育を先延ばしに、定員拡大を優先した。今後、幼保一元化施設四カ所での拡充を実施していく。定期利用保育は、区民需要を見極めていく。利用実態等を考慮し、四日間から五日間とす。区民サービスに充実に寄与したい。土曜日に試行的に開校し、二、三年の高利用クラスも提供できるよう検討する。ホームページを充実させ、育児学級などの情報を提供し、働く親にも十分配慮した子育て支援を進めたい。



放射能対策、危機管理対策等 3点を質す



純粋無所属
筈本 由紀子 議員

問 四号機の危機は続いている。日光や那珂フィンランドに子どもを移かせる責任は区長、保護者の判断でお願い。教育長、保護者の判断で参加

放射能対策について

問 フィルターを燃やしている清掃工場、区民への責任は。検討委員会について。保育園から除染した土等の保管は、区長の姿勢が現場の足かせになっているのでは。区長、区の施設ではない。清掃一部事務組合の報告で問題があれば指摘。偏見は慎んでほしいと思つている。

問 健康推進部長、昨年度二回開催。その後状況変化なく再開はない。安全性は確認済み。保管場所は今後も非公開

危機管理対策について

問 ヒカリエ八階の対策本部までとつて行くのか。一月の応急給水訓練ではパイプが来ていなかったのでは。区長、徒歩や自転車で行く。危機管理対策部長、給水で

教育と情報発信について伺う



民主党
治田 学 議員



英語のびがん教育について

問 英語を使って仕事をしている方と接することで、生徒たちに具体的な未来像を考えたほうがいい。一歩進んだ小学校でのがん教育を、教育長、「提言を生かし英語体験の場を設ける」。健康な生活習慣の確立を重視した教育を計画的に進めている。

情報発信について

問 防災アプリの導入を、防災以外の情報周知にツイッターを使っては。行政サービスの一つとして動画配信を行っている。

区長 災害時に医師会が集約した医療機関開設状況等を区民に提供する防災情報システムを作りたい。特性を踏まえ検討する。経費や対象内容等、実施の課題は多い。

高齢者・障害者福祉の充実、公契約条例の対象拡大を



日本共産党
牛尾 真己 議員

介護・高齢者福祉について

問 生活援助ヘルパーの派遣時間区分を元に戻すよう国に求めるとともに、区のヘルパー派遣を紹介し、利用料を元に戻すべき。配食サービスは対象と補助額を元に戻せ。区長、国に対して求める考えはない。区の制度は介護支援専門員等研修会などで周知していく。補助額を元に戻す考えはない。今日の時代、難しいと考えている。

障害者福祉について

問 障害者総合支援法の撤回と、総合福祉法の制定を求めよ。地域自立支援協議会は障害当事者等の意見が尊重される構成に。区が責任を持ってケアホーム等の増設を。区長、その考えはない。慎重に検討したい。民間の協力を得ながら整備したい。

公契約条例について

問 労働条件向上を図るため対象となる工事予定価格を下げ、委託契約等を含めるべき。区長、対象契約の範囲等は労働報酬審議会を検討する。

出張前通題について

問 水川・恵比寿出張所を元の拠点の役割を果たすべき。区長、区民サービスセンターは利便性に資している。恵比寿も地域の理解を得ている。



しぶや区議会だより 点字版・テブ版をご利用ください

区議会では、目の不自由な方のために点字版、テブ版を作成しています。ご希望の方、またはお知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、左記までご連絡ください。

区議会事務局調査係
TEL 3463 1096



区議会ホームページのご案内

渋谷区議会では、区議会情報をいち早くお知らせするため、ホームページを開設しています。

掲載している情報内容

- 区議会の活動
- 区議会議員の紹介
- 区議会の構成
- 区議会のあらまし
- くぎかいのおはなし (小学生向け)
- 意見書・決議等
- 区議会だより (平成16年第1回定例会以降)
- 区議会月報 (平成14年1月分以降)
- 会議録 (平成15年5月分以降)
- 本会議の録画中継 (平成24年6月定例会以降)
- 政務調査費収支一覧
- 議長交際費
- 友好都市との交流
- 区議会関連リンク

平成24年6月の第2回定例会より、本会議のインターネット録画中継を始めました。本会議終了後の概ね一週間後から、ホームページよりご覧になれます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>
渋谷区役所ホームページからもリンクしています。



お知らせ

議員の失職と当選人の決定

区議会議員の失職
平成23年4月24日に行われた区議会議員選挙で、当選の効力について訴訟が最高裁判所で平成24年5月29日に確定し、小嶋政也氏の当選が無効となり、失職しました。
(平成24年5月30日付)

区議会議員の当選

裁判の結果を受け、区議会議員選挙の当選となるべき候補者の2名の得票数が同数となったため、平成24年6月5日に選挙会が開催され、松岡定俊氏が当選が決定しました。

会派役員交代

民主党新役員
副幹事長(24・4・3)
芦沢一明 議員

みんなの党新役員
幹事長(会計)24・5・30
須田賢 議員

議席号の変更(24・6・7)
3番 下嶋倫朗 議員
4番 久永 薫 議員
15番 沢島英隆 議員
13番 前田和茂 議員
14番 松岡定俊 議員

*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、区政資料コーナー、区立図書館で会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。

平成24年4月1日
~平成24年6月20日

委員会の活動状況

総務区民委員会

地域交流センター二軒家
の視察を行いました。
委員からは地域の銭湯が
減少するなか、高齢者のた
めの浴室開放であり、快適
に利用いただけるように設
備などの再確認をするよう
等の要望をいたしました。
開設直前の渋谷ヒカリエ
内の区民施設を視察しまし
た。
なかでも、防災センター
は最新鋭の技術を駆使した
設備で、発災時には災害対

策本部として、警察、消防
等の機関と情報を共有し、
連携して対策にあたる地点
となりまし。
また、区民サービスセン
ターは駅に直結し、業務内
容も充実しており、区民の
利便性の向上が期待できる
施設です。
委員からは、開設時間や
取扱い業務の拡大について
今後も柔軟に対応するよう
要望をいたしました。

都市環境委員会

渋谷区自転車安全利用対
策協議会の設置について報
告を受けました。
当協議会では、深刻化する
自転車事故に対処するため、
自転車の整備や、良好な
自転車交通秩序の実現
を図ることを目的とし
て設けられました。
今後、中間報告を
経て、「自転車安全利用指
針」の策定を目指す等
の説明がありました。
四月十八日、旧臨川
児童遊園地を改修・改
称した「臨川四季の森」
を視察しました。
植栽を増やし、「誰で
もトイレ」を設けたほか
が震災時にかまどや
トイレとして使えるペ
ンチやスツールも導入
し、震災対策機能を併
せ持つ公園として整備

されました。
五月二十五日、新設され
た「高ヶ谷三本杉公園」を
視察しました。地域住民と
連携して運営するよう要望
しました。



臨川四季の新緑祭

文教委員会

渋谷区初の小中一貫教育
校「渋谷区町学園」で、開
校の記念式典、オープン
ベニス型教室、光の舞台な
ど最先端の教育環境を視察
しました。
平成二十四年度保育
園入所状況について報
告を受けました。質疑
の中で、定員の拡大に
もかかわらず現状が増え
ている現状を踏ま
え、様々な創意工夫で
待機児ゼロを目指すよ
う要望をいたしました。

渋谷区芸術振興財団
の経営状況について報
告を受けました。区民
をはじめ、多くの方々
に球場にたたくよう、
特別展などの宣伝方法
や割引券の活用などの
検討を望みました。
代々木二丁目幼保一
元化施設(仮称)基本
計画及び神宮前二丁目幼保
一元化施設(仮称)基本計
画について、施設概要や説
明会における質疑内容の報
告を受けました。



幼保一元化施設
西原じとるはぶきんず視察

福祉保健委員会

今年度新たに実施する要
支援・要介護認定者に対する
食事指導事業を七月一日か
ら開始することについて報
告を受けました。質疑の中
で、協力店舗については地
域偏在のないよう拡大を図
ることも、より利用しやす
い方法を検討するよう要
望しました。
区立保育園・小学校の給
食費率についての第一回反
射性物質検査の結果につい

て報告を受けました。すべ
ての保育園、小学校の食
材からは放射性ヨウ素、放射
性セシウムとモニ不検出
した。質疑の中で、広報に
ついて改善を求めました。
九月一日以降、定期接種
に不活化ポリオワクチンを
導入することについて報告
がありました。質疑の中で
対象児が濡れなく接種でき
るよう周知の徹底を要望し
ました。

議会運営委員会

平成二十四年第二回渋谷区
議定例会について、区長が
六月七日に招集したいとの
報告がありました。
提出予定議案として、渋谷
区公民館条例など条例七件
、区民センター共和国小学生等
派遣研修及び労働報酬審議会
委員報酬に係る二十四年度一
般会計補正予算(第二号)、契
約案件二件、人権擁護委員の
候補者の諮問一件、一般財団
法人渋谷区観光協会の経営状
況の報告など報告十一件を提
出するとの説明を受けまし
た。
追加提出予定議案として、
東日本大震災被災地復興支援
事業に係る二十四年度一般会
計補正予算(第二号)を提出
するとの説明を受けました。
当委員会では、定例会の会
期等について協議し、会期を
六月三十日までの十四日間と
することを決定しました。

自治権確立特別委員会

第二十四回渋谷清掃工場
運営協議会の開催結果につ
いて報告を受けました。
運営協議会では東京二十
三区清掃一部事務組合から、
渋谷清掃工場における廃棄
物の搬入状況、焼却炉運転
状況等の報告を受けたほか、
環境調査結果として、排ガス
、排水、臭気、ダイオキシ
ン類等について、いずれも
基準値を下回っているとの
報告がありました。
また、原発事故に由来し
た放射性物質に汚染され
た焼却灰等の処理状況につ
いて説明があり、渋谷工場の
環境監視項目の煙突排ガス
、下水道、空間放射線量に
ついて、法律に定められた
基準値以下であり、今後も
継続的に測定を行い、一部
事務組合の水ドームベジ
で公表すると報告があり
ました。

交通・公有地問題特別委員会

四月二十五日、第九次渋谷
区交通安全計画について
報告を受けました。
質疑の中で、自転車ルー
ルの啓発及び警察との連携
の強化、さらに自転車利用
環境の整備や、災害対
策の視点を盛り込むこと
等を求めました。
五月九日、当委員会
の今年度事業計画を策
定し、渋谷区内の警察
署・交通安全協会の関
係者を招いて、区内の
交通問題に係る懇談会
を開催することを決定
しました。
五月三十日、区内
の交通問題に係る懇談
会を開催しました。警
察からは、四月末まで
の交通事故が昨年より
大きく減少している
等の報告がありまし
た。



区内の交通問題に係る懇談会

議会議情公開・個人情報保護実施状況

情報公開開閉係

平成二十四年四月一日	三件
平成二十四年六月二十日	三件
請求件数	五十七件
公開件数	五十六件
非公開件数	一件

個人情報保護開係

平成二十四年四月一日	一件
平成二十四年六月二十日	〇件
請求件数	〇件

第2回定例会 / 議案等の概要と結果

件 名	概 要	自	公	日	民	無	純	新	み	結 果 賛成 ×反対
		由	明	本	主	所	所	民	な	
		明	主	共	民	属	属	主	な	
		主	党	産	党	無	無	無	無	
人権擁護委員の候補者について	千葉 睿一 (ちば えいいち) 氏 西原 1丁目在住									
公契約条例 (制定)	1 公契約に係る基本的な事項を規定する。 2 関係条例の一部改正 渋谷区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例								×	
手数料条例の一部を改正する条例	1) 外国人登録法の廃止に伴う規定の整備 2) マシンの建替えの円滑化等に関する法律の一部改正に伴う証明書 発行手数料の新設 3) 東京都がくごの取扱い規制条例の一部改正に伴うふく加工製品取扱届出 済票交付手数料の新設									
区民会館条例の一部を改正する条例	氷川区民会館の集客室の新設								×	
住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例	住民基本台帳法の一部改正に伴う規定の整備								×	
印章条例の一部を改正する条例	住民基本台帳法の一部改正に伴う規定の整備								×	
特別区税条例の一部を改正する条例	地方税法の一部改正等に伴う規定の整備									
地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	1) 渋谷駅地区地区計画 (平成23年8月19日告示) 及び管轄駅南口地区地区計画 (平成24年3月30日告示) の都市計画決定に伴う適用区域及び建築物の用途の制限等の追加 2) 都市計画法及び密集市街地における防火街区の整備促進に関する法律の一部改正に伴う規定の整備								×	
平成24年度一般会計補正予算 (第1号)	補正金額 15,200,000円								×	
平成24年度一般会計補正予算 (第2号)	補正金額 42,500,000円								×	
街路築造及び電線共同溝工事その (補助60号線) 請負契約	契約金額 188,790,000円 契約の相手方 株本建設工業株式会社 東京支店 工期 契約の日から平成25年3月25日まで									
神宮前五丁目幼保一元化施設 (仮称) 建設工事請負契約	契約金額 309,750,000円 契約の相手方 大和リース株式会社 東京本店 工期 契約の日から平成25年2月28日まで								×	
消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	
保育を産業化し、保育制度を破壊する「子ども・子育て新システム三法」を撤回するよう国に意見書の提出を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	
国に対して「障害者総合福祉法」の制定を求める意見書提出に関する請願										
生活保護者に支給されている特別対策給付金を元に戻す請願		×	×	×	×	×	×	×	×	
餓死、孤立死事件をなくすための請願		×	×	×	×	×	×	×	×	
専決処分の報告について	本町地区小中一貫教育校建設建築工事請負契約の一部変更 (工期の延長) に伴う専決処分 (工期 平成24年4月27日)									
専決処分の報告について	本町地区小中一貫教育校建設電気設備工事請負契約の一部変更 (工期の延長) に伴う専決処分 (工期 平成24年4月27日)									
専決処分の報告について	本町地区小中一貫教育校建設空調設備工事請負契約の一部変更 (工期の延長) に伴う専決処分 (工期 平成24年4月27日)									
専決処分の報告について	本町地区小中一貫教育校建設給排水衛生設備工事請負契約の一部変更 (工期の延長) に伴う専決処分 (工期 平成24年4月27日)									

報 告

平成二十三年度一般会計予算繰越明許費の繰越し

恵比寿区民複合施設整備事業費
繰越額 四千四百四十万円

旧代々木高松跡地複合施設整備事業費
繰越額 一億九千九百二十一万一千円

本町第一保育園仮設園舎設置工事
繰越額 八千七百六十七万五千円

都市交通システム整備事業費
繰越額 八百万円

本町小学校グラウンド整備
繰越額 三億七千五百九十万円

平成二十三年度一般会計予算繰越越し
富ヶ丘一丁目公園 (仮称) 整備工事
繰越額 七千四百三十八万六千七百二十五円

本町地区小中一貫教育校建設工事
繰越額 八億三千三百四十五万六千五百五十五円

株式会社渋谷都市整備公社の経営状況
二十四年度予算総額は、十一億九千九百二十万七千円です。主な事業内容は、渋谷区役所前駐車場の管理運営です。

株式会社渋谷サージャビース社の経営状況
二十四年度予算総額は、十六億二千五百六十七万二千円です。主な事業内容は、スポーツセンター等施設運営管理、区民会館運営管理です。

渋谷区土地開発公社の経営状況
二十四年度の用地取得事業費は、十三億八千二百九十六万六千円です。主な事業内容は、公共用地取得事業です。

一般財団法人渋谷区観光協会の経営状況
二十四年度予算総額は、三千一万円です。主な事業内容は、情報提供事業、渋谷系デザインセンター事業です。

公益財団法人渋谷区美術振興財団の経営状況
二十四年度予算総額は、一億四千二百八十八万三千円です。主な事業内容は、区立松濤美術館の美術振興事業、教育普及事業です。

議 会 運 営 委 員 会 委 員 一 覧

- (委員長 / 副委員長)
平成24年6月7日現在
- 丸山 高司 牛尾 真己
 - 植野 修 五十嵐千代子
 - 栗丸 英隆 木村 正義
 - 栗丸 義人 鈴木 建邦
 - 岡田 麻理 菅野 茂
 - 浜田 浩樹 (欠員)

特 別 委 員 会 委 員 一 覧

- (委員長 / 副委員長)
平成24年6月7日現在
- 自治権確立特別委員会
 - 沢島 英隆 岡田 麻理
 - 栗丸 義人 牛尾 真己
 - 佐藤 真 新保久美子
 - 久永 薫 五十嵐千代子
 - 久田 学 丸山 高司
 - 長谷部 健 染谷 賢治
 - 笹本 由紀 芦 植野 賢一
 - 須田 和茂 沢 一
 - 前田 賢

交 通 ・ 公 有 地 問 題 特 別 委 員 会

- 鈴木 建邦 栗谷 順彦
- 廣瀬 誠 古川 斗紀夫
- 下嶋 倫 小林 崇史
- 佐々木 弘明 小川 正樹
- 伊藤 毅 浜田 浩樹
- 堀切 穂志 木村 正義
- 松岡 定俊 菅野 茂

